

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	令和4年度第3回加東市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和4年11月25日（金）午後2時30分から午後4時10分まで
開催場所	加東市役所 2階 201会議室
議長の名（会長 兒山 真也）	
出席及び欠席委員の氏名	
<出席委員>	
<ul style="list-style-type: none"> ・依藤 幹男 ・田中 康嗣 ・見方 保巴(代理) ・田中 源太郎 ・西村 滋 ・竹内 宏(代理) ・田渕 弘樹 ・宇高 昌利 ・森 秀樹 ・田中 隆文 ・白井 敏正 ・溝端 実 ・松尾 美智子 ・山本 保 ・石原 敬三 ・谷上 英樹 ・阿江 孝仁 ・中村 勇 ・吉田 伊佐見 ・丸山 正人 ・大西 祥隆 ・大畑 敏之 ・三木 秀仁 	
<欠席委員>	
<ul style="list-style-type: none"> ・水田 節男 ・小幡 修司 	
オブザーバーとして出席した者の職氏名	
<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県土木部交通政策課 寺村 圭祐 ・神姫バス株式会社バス事業部計画課 笹目 成矢 ・神姫バス株式会社バス事業部計画課 岩津 萌輝 	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり政策部企画政策課長 下岡 正裕 ・まちづくり政策部企画政策課副課長 岸本 純子 ・まちづくり政策部企画政策課係長 鷹尾 有紀 	
報告・議事・資料等	
【協議事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス（神姫バス 社三田線）に係る運行ルートの変更等について（資料No.1） 	
【報告事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの活用及びデマンドタクシーの導入に係る実証実験について（資料No.2） ・自家用有償旅客運送におけるフリー降車区間の設定について（資料No.3） ・加東市地域公共交通網形成計画の実績について（資料No.4） 	

令和5年1月17日

会長 兒山真也

副会長 依藤幹男

(別紙) 令和4年度第3回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会</p>
	<p>2 協議事項 路線バス（神姫バス社三田線）に係る運行ルートの変更等について</p>
	<p>事務局からの説明</p>
	<p>【質疑応答等】</p>
委員	<p>利用者の減少とは、路線全体の利用者が減少しているということで、廃止される停留所の利用者が少ないという意味ではないということでしょうか。</p>
事務局	<p>路線全体でも利用者は減少傾向にありますが、停留所が廃止される久米区間は、路線の中でも、特に利用者が少ない区間となっています。</p>
委員	<p>路線全体の利用者が少ないので、少しでも利用者を増やすために運行ルートを変更するということか、もともと久米区間の利用者が少ないので変更したほうが良いということか、どちらの認識でしょうか。</p>
事務局	<p>対象区間は、停留所の乗降者数が非常に少ない区間であるため、運行ルートを東条西地区に変更することにより、社三田線全体の利用者が増加することを見込んでの提案となります。</p>
委員	<p>東条地域から直接小野方面に行ける路線（天神電鉄小野駅線）もあったと思いますが、東条西地域から社方面や社町駅へのルートができるので、小野方面への移動手段が増えるということですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。社を経由して小野方面に行くことができる路線が増えることとなります。</p>
委員	<p>嬉野台生涯教育センター経由の運行便の一部が、厚利経由に変更するということですが、資料3ページのどの部分を見ればわかりますか。</p>
オブザーバー	<p>変更する便の備考欄に「久米→厚利」、「教育→厚利」と表記をしています。協議中の内容ですので確定ではありませんが、これで路線の変線を把握していただくことができます。</p>

議長	資料では「厚利経由」と表記していますが、停留所名は「上厚利」です。「上厚利」という表現に変更をしなくてもよいでしょうか。
事務局	地区名が「厚利」ですので、「厚利」という表現で問題ないと捉えています。
委員	運行ルートを変更することで、天神から社までは、どのくらい長くなりますか。また、停留所が廃止される地区の住民の移動手段は確保ができていますでしょうか。
事務局	<p>運行ルート変更によって、天神から社までは、時間にして7分程度長くなると聞いています。</p> <p>停留所が廃止される地域の移動手段については、報告事項（1）のスクールバスの活用で移動手段の確保ができないかと考えています。</p>
議長	米田ふれあい号に関しても検討をする予定でしょうか。
事務局	米田地域が運行している自主運行バスの米田ふれあい号については、来月に上久米・久米・下久米地区の全世帯にアンケート調査を実施する予定としています。その結果に基づいて、米田地区の区長会と協議・検討を行う予定です。
委員	<p>嬉野台生涯教育センター経由から厚利経由に変更になった昼間の便は、利用者が少ないということが変更理由でしょうか。</p> <p>また、今回の案件ではありませんが、天神電鉄小野駅線が朝の便がなく、非常に不便になっています。公共交通では、高校生など学生の移動手段の確保をお願いしていますが、この件についてお答えいただきたい。</p>
事務局	<p>天神電鉄小野駅線については、4年ほど前に利用者が非常に減少していたため、バス事業者からこの路線の休止について意向が示されました。それを受け、東条地域の区長と協議を行い、路線の継続維持という方向でバス事業者へ要望し、路線を維持していただいているところです。特に東条地域から小野地域に通学で利用する学生の移動手段として、現状のダイヤで運行しています。</p> <p>なお、社三田線ルートの変更に伴い、天神から社を経由することになりますが、社で乗り換えて小野に行くという選択肢が増える中で、東条地域から小野、また小野方面から天神方面への移動手段の充実を図っていきたいと考えています。</p>

オブザーバー	<p>嬉野台生涯教育センター経由を厚利経由に変更した便については、近接した時間帯に運行している嬉野台生涯教育センター発の路線で補完できる便であることから、社三田線の厚利経由の便数の充実を図るため、今回の時刻表の編成を検討しているところです。</p>
委員	<p>コロナ禍でバス事業者の経営状況が厳しく、利用者の減少もありますが、南山にも若い世代の方がいらっしゃいますので、今後はこのままではなく、需要が増えた時には学生たち公共交通を使える形に反映されるようにしていただきたいと思います。</p>
議長	<p>全てのルートで十分な便数確保はなかなか難しい状況にあるかもしれませんが、特に学生の利便性の確保は大事なことかと思えます。バスターミナル経由で行くと運賃が安くなるということもありますが、引き続きお考えいただければと思います。</p>
議長	<p>それでは、「路線バスに係る運行ルートの変更等について」、本協議会で合意したと取り扱ってよろしいでしょうか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>本件は承認といたします。</p>
	<p>3 報告事項</p>
	<p>(1) スクールバスの活用及びデマンドタクシーの導入に係る実証実験について</p>
	<p>東条学園スクールバス活用の実証実験(案)について、事務局から説明</p>
	<p>【質疑応答等】</p>
委員	<p>29人乗りのマイクロバスということは、補助席を含めて、目一杯の椅子があると思います。高齢者は手押し車を利用している方がいますが、マイクロバスでは、それを乗せる場所がないと思います。子ども用の車両では、高齢者の利用に不向きではないでしょうか。</p>
事務局	<p>スクールバスの活用については、まずは空き時間を活用した運行が可能かという実証実験になりますので、今ある車両を活用しての運行を考えています。</p>

	<p>また、実証実験を実施する中で、車両についての意見等あるかと思しますので、本格運行となれば、そういった意見を踏まえ、車両についても教育委員会部局と協議をしながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>目的に応じて必要な車両を用意するということが必要だと考えます。子ども用の車両と高齢者用の車両では、安全対策や必要な設備が異なる。高齢者には、高齢者が乗り降りしやすい車両を考えていただきたい。</p>
事務局	<p>まずは、スクールバスの空き時間という資源がありますので、その資源を活用して、高齢者の移動手段の確保に取り組みたいと考えています。ただ、当然運行していくうえで安全第一は当たり前のことですので、その点は十分注意しながら運行していきたいと考えています。</p>
議長	<p>公共交通として活用する際に、あきらかに危険だという車両であれば利用すべきではないですが、地域の限られた輸送資源を、できる限り使っていただくという状況において、スクールバスの車両を活用することに問題はないと思います。まずは実験をしてみて、その上で、安全面についても検証していくということではよいのではないかと考えます。</p>
委員	<p>この実証実験を是非やっていただきたい。路線バスや福祉タクシーとも、やはりそれぞれ違いがありますので、タクシーの活用なども含めて、とにかく公共交通を皆さんに使ってほしい。あれもだめ、これもだめではやってられないので、安全面についても気を付けてやっていきたいと思いますという考えで進めていただきたいと思います。</p>
	<p>デマンドタクシーの実証実験(案)について、事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>滝野・東条地区から社地区に行く場合ですが、他の商業施設がある中で、イオン社店のみとなっているのはなぜでしょうか。</p> <p>また、予約時間について、病院帰りの方が予約して90分待たなければいけないこととなります。予約をしても治療が長引いて予約時間を過ぎてしまうことがあるかもしれません。もう少し短くすることはできないでしょうか。</p>
議長	<p>滝野・東条地域から社地域への移動は、例外措置という位置付けと考えています。基本的に地域内旧町地域内が原則ですが、社地域に移動ニーズへの</p>

	<p>配慮だと考えています。</p> <p>また、全ての移動をこのデマンドタクシーに乗って完結させる考えではなく、選択肢のひとつと考えています。予約時間については、まずは90分前とし、実証実験の中で、時間の短縮についても検討するという事でやっていただけたと思います。</p>
事務局	<p>滝野地域や東条地域から社地域への移動につきましては、基本的には、バスを乗り継いで移動するという方法になります。ただし、バス停への移動やバスへの乗降が難しい方については、限定的に、市役所・市民病院・イオン社店の3施設については、デマンドタクシーの目的地として利用できます。イオン社店を対象にしている理由は、加東市内の大型商業施設であり、衣類の購入などを希望する方がいることを想定し、それに対応するために設定したものです。</p> <p>また、予約時間について、まずは制度上、90分前までに予約をするという形で実証実験をさせていただきたいと考えています。一方では、いろいろなご意見が出てくるかもしれませんので、実証実験を踏まえて、今後、事業者との調整をさせていただきながら、改善すべき点につきましては、改善していくというところで取り組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>オペレーターの問題について、市役所内のどの場所でオペレートされるのかどうか、それを実際走るタクシーにどのように連絡されるのか。</p>
事務局	<p>この実証実験においては、オペレーターということではなく、通常のタクシーの予約と同じやり方でやっていきます。ただし、この実証実験を踏まえて乗合型とする場合には、オペレーター業務の場所・方法についても検討していく必要があると考えています。</p>
委員	<p>受け付けをしたタクシー事業者が、障害の程度や内容を聞いて利用条件を判断するのですか。</p>
事務局	<p>デマンドタクシーを利用するためには、利用者証が必要になります。その利用者証を発行する際に、市が、基準に基づいて利用条件等を判断します。</p>
委員	<p>実証実験を推進するにあたっては、登録された方が便利な形で利用できるよう、特例措置についても周知をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>実証実験を実施するにあたり、制度の開始や内容について、しっかりと周知する必要があると捉えております。</p>

委員	<p>出発地が半径 300m 圏内でも、目的地がバス停から半径 300m 圏外のところに行くのであれば、利用できるのですか。実質的には、半径 300m 圏外に住んでおられる方だけに利用者証を発行するというのが基本的な運用になるのでしょうか。</p> <p>また、利用される方やタクシーの運転手が判別に困らないようにしていただく必要があると思います。</p>
事務局	<p>ご自宅が 300m 圏内であったとしても、目的地が 300m 圏外であれば、デマンドタクシーを利用できますので、利用者証は申請された利用対象者全員に発行します。ご自宅が半径 300m 圏内にあるかなどについては、申し込みの時点で判定し、利用条件が利用者証でわかるような形を取りたいと考えています。</p>
委員	<p>タクシー事業者が、利用者証を見て目的地まで利用ができるかを判断することでしょうか。</p>
事務局	<p>目的地は、あらかじめ市が設定して登録するため、予約の時に 300m 圏内か圏外かの判別ができます。その組み合わせで利用ができるか判断をしていただくという形になります。</p>
委員	<p>資料には、バスが運行していない時間帯に限り 300m 圏外とみなすとありますが、これはバスの運行時間帯の前後何分程度ですか。</p>
事務局	<p>バス事業者と協議をしており、バスの運行時間前後 60 分から 90 分になると考えています。</p>
委員	<p>運賃について、1 人あたりの運賃設定になっていますが、この表現をすると、乗り合い事業に該当するのではと思います。1 運行に対しての運賃設定という形にさせていただきたいと考えていますが、実証実験ということなので、こういった取り扱いが可能になるのかどうかを含めて、また検討をさせていただきたいと考えています。</p>
事務局	<p>詳細については、調整をさせていただきます。</p> <p>(2) 自家用有償旅客運送におけるフリー降車区間の設定について</p>

事務局	<p style="text-align: center;">事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】（なし）</p> <p style="text-align: center;">(3) 加東市地域交通網形成計画の実績について</p> <p style="text-align: center;">事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】（なし）</p>
	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東バスターミナルについて <ul style="list-style-type: none"> ①供用開始：令和4年10月1日（土） ②竣工式：令和4年9月30日（金） （開催場所）にぎわい交流施設「halk(ハルク)」 （出席者）来賓 29 名、事務局 12 名 ③h alk フェス（オープニングイベント）： 令和4年10月22日（土）9：30～15：00 （来場者数）のべ4,000 名 ・加東市公共交通ガイドブック 10 月発行版について 10 月のバスターミナル供用開始に合わせて作成 ・伝タクの車両ラッピングについて ラッピング車両を9月から運行 ・今年度のモビリティマネジメントについて <ul style="list-style-type: none"> ①バスの乗り方教室 11月24日に福田小学校6年生を対象に実施 ②JR 乗り方教室 12月に滝野中学校2年生を対象に実施予定 <p>5 閉会</p>